

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	緑のカーテン事業			会計	款	項目	大事	小事	
				01	04	01	04	05	68
政策	O2	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	環境政策・放射能対策課				
施策	2-1	豊かで美しい生活環境の創造		主管課長	染谷 忠美				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民、自治会、学校、公共施設	意図	緑のカーテンの普及により地球温暖化防止に寄与する。
事業内容	二酸化炭素排出量の削減に有効といわれている緑のカーテンについて、ゴーヤの育て方講習会の開催や公共施設及び自治会を通じたゴーヤ苗・種の配布により普及を図る。平成24年度から本事業を「流山ゴーヤカーテン普及促進協議会」に業務委託し事業の推進を図っている。平成28年度は2回目となる「ゴーヤフェスティバル」を開催し緑のカーテンの魅力をアピールした。			
事業開始から現在までの状況変化	平成23年度までは市がゴーヤの苗を自治会等に直接配布してきたが、平成23年4月に「流山ゴーヤカーテン普及促進協議会」が設立されたことに伴い本事業を当団体に業務委託し事業の推進を図っている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	申込自治会	101	109	118	件	↑↑↑
②	緑のカーテン実施率	13.80	15.30	12.30	%	↑↑↑	まちづくり達成度アンケート
③							
④							
⑤							
⑥							
指標で表すことができない定性的な成果	地球温暖化対策への意識向上			目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 緑のカーテン普及については、平成28年度も流山ゴーヤカーテン普及促進協議会に業務委託し、2会場にて育て方講習会を開催し、市民に850株のゴーヤの苗と800粒のゴーヤの種を配布した。また、自治会には118自治会に7483株の苗と14288粒の種を配布したほか、学校や公共施設に1980株の苗と5624粒の種を配布した。平成28年度は2回目となる「ゴーヤフェスティバル」を開催し、緑のカーテンの魅力をアピールした。			
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		6,758,187	5,707,270	5,233,683			
事業費(b)(円)		2,612,187	1,189,270	1,114,683			
うち一般財源		1,212,187	1,189,270	1,114,683			
職員給与費(c)(円)		4,146,000	4,518,000	4,119,000			
人役・職員(人)		0.60	0.60	0.60			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	III 要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	普及促進に当たり「ゴーヤフェスティバル」や全小中学校での取り組み依頼を行う。コスト削減のため自治会あたりの苗配布数を減らし種の育成に努めてもらう。	③取組の課題	コスト削減・事業効率・継続的取り組み等の観点から、苗の配布を制限して種を増やしていくことが必要となる。
②今年度(H28)に実施した取組	8月に「ゴーヤフェスティバル」を行ったほか、依頼により全小中学校での取り組みが行われた。自治会に前年度配布苗数の20%削減を依頼した。	④今後の改善計画	ゴーヤの苗による育成から種への育成へ転換していく。